

中小企業景況調査報告書

令和2年7月～令和2年9月期実績 / 令和2年10月～12月期見通し

令和2年9月

宮崎県商工会連合会

中小企業景況調査要領

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、全国商工会連合会が中心となり、昭和54年度から四半期ごとに全国一斉に実施しているものです。
本県分の調査結果は次のとおりです。

1. 調査対象期間

令和2年7月～令和2年9月期を対象とし、調査は令和2年8月21日から9月1日の間に実施しました。なお、令和2年10月～12月期は予測値となります。

2. 調査方法

商工会の経営指導員による訪問面接調査により実施。

3. 対象地区

宮崎市生目、中郷、北郷町、高崎町、すき、国富町、木城町、川南町、諸塚村、日之影町の10商工会地区。

4. 回答企業数

150企業のうち、136企業の回答を得た(有効回答率90.7%)。

業 種	調査対象企業数(%:構成比)	有効回答企業数(%:構成比)	有効回答率(%)
製 造 業	32 21.3%	28 20.6%	87.5%
建 設 業	24 16.0%	22 16.2%	91.7%
小 売 業	43 28.7%	39 28.7%	90.7%
サービス業	51 34.0%	47 34.6%	92.2%
合 計	150 100.0%	136 100.0%	90.7%

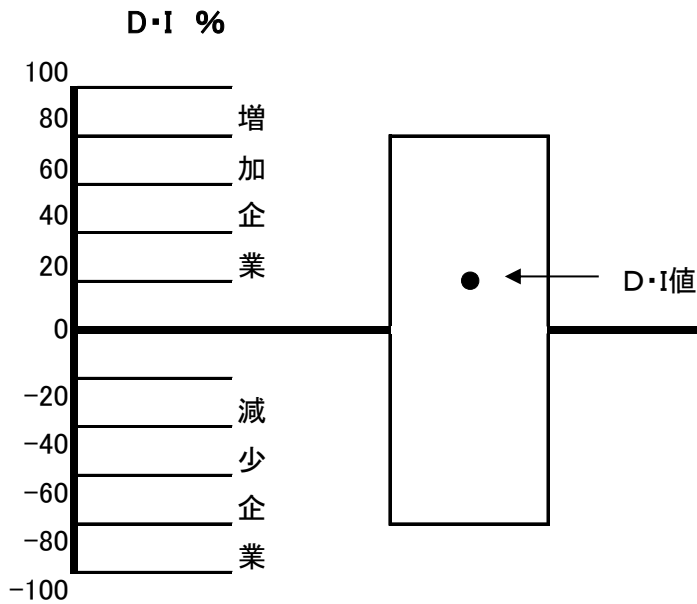
5. その他

(1) D・I

この報告書の中で、「D・I」とある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略です。これは企業経営者の景気動向を表わす指標として利用されています。算出方法は、今期と前期、今期と前年同期、あるいは今期と来期「見通し」との比較を行い、増加(上昇・好転)企業の割合から減少(低下・悪化)企業等の割合を差し引いたものです。D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観) 原材料又は商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

例えば、売上高で(増加)企業40%、(不変)企業40%、(減少)企業20%の場合、D・Iは40(増加)－20(減少)＝20となり、全体として経営者の売上に対する強気の度合いを表わしています。

グラフで示すと下のようになります。



(2) 天気図

D・I値をお天気マークで表示

DI値	特に好調 $30 \leq DI$	好 調 $15 \leq DI < 30$	まあまあ $0 \leq DI < 15$	やや不振 $\Delta 15 \leq DI < 0$	不 振 $\Delta 30 \leq DI < \Delta 15$	きわめて不振 $DI \leq \Delta 30$
表示						
	晴	晴時々曇	うす曇	曇	曇時々雨	雨

I 全産業全体の状況

主要景気動向指数(D・I)

項目	令和1年	令和1年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月
	前年同期	前々々期	前々期	前期	今期	来期見通し
売上高	▲10.4	▲11.4	▲20.2	▲57.8	▲35.3	▲41.6
採算	▲16.2	▲13.6	▲23.0	▲50.2	▲30.7	▲35.1
資金繰り	▲9.3	▲9.0	▲13.3	▲39.0	▲26.4	▲31.5
業況	▲12.4	▲9.5	▲19.0	▲53.8	▲39.1	▲38.7

いずれも前年同期と比較したもの。

<主要景況項目の概況>

◎売上高

今期(令和2年7月～令和2年9月)の売上高のD・Iは、▲35.3ポイントとなって、直前四半期の▲57.8ポイントより改善した。全ての業種で改善傾向を示した。来期については▲41.6ポイントと今期よりも悪化を見込んでいる。

◎採算

採算のD・Iは、▲30.7ポイントとなっており、直前四半期の▲50.2ポイントより改善している。全ての業種で改善傾向を見せた。来期については、▲35.1ポイントと当期より悪化を見込んでいる。

◎資金繰り

資金繰りのD・Iは、▲26.4ポイントで、直前四半期から改善した。全ての業種で改善した。来期について、全体で▲31.5ポイントであり、当期より悪化を見込んでいる。

◎業況

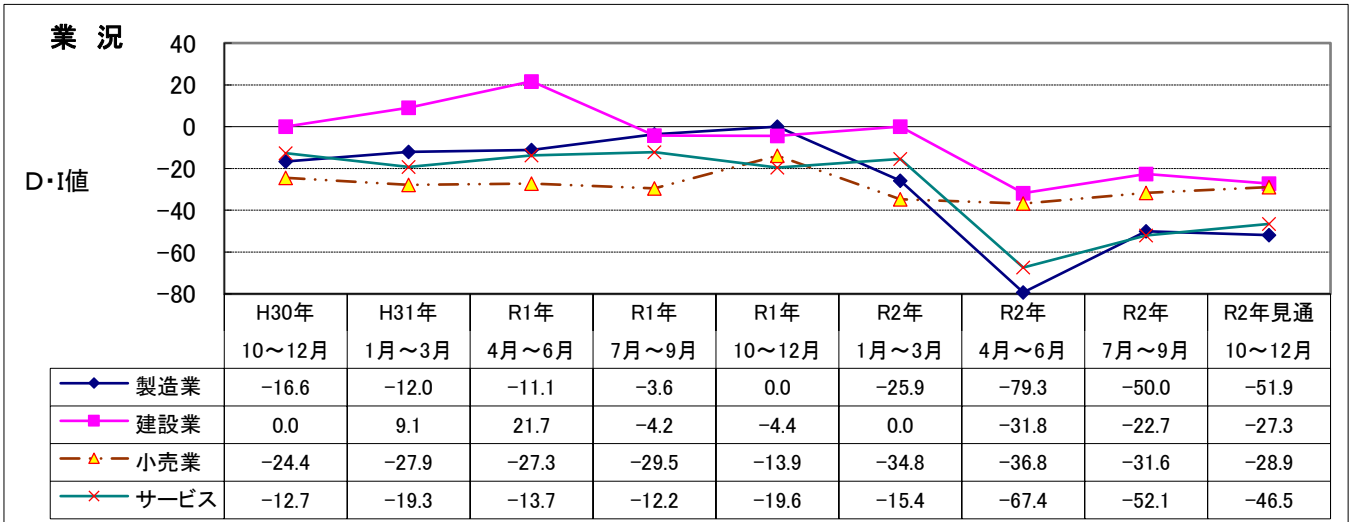
業況のD・Iは、▲39.1ポイントで、前期に比べて改善している。来期は▲38.7ポイントとほぼ横ばいである。

内閣府の令和2年9月発表の月例経済報告では、「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。」としており、景気の回復過程にあるとしている。日本銀行宮崎事務所の9月7日付の宮崎県金融経済概況では、「宮崎県の景気は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、厳しい状況にある。特に観光は、厳しい状況が続いている」としており、基調判断としては、前回と変わりはない。本調査でも、県内中小・小規模事業者の景況感は、緊急事態宣言の解除、県境を越えた往来の解禁などにより、前期からは回復しているが、来期以降は新型コロナウイルス感染症の再度の拡大の懸念から悪化を見込んでいるところである。

製造業	売上、採算、資金繰りの全てで改善という結果となった。次期の見通しは、売上は横ばいで、採算と資金繰りは当期より悪化を見込んでいる。
建設業	完成工事額、採算、資金繰りの全てで改善という結果になった。次期の見通しは、完成工事額、採算、資金繰りの全てで悪化を見込んでいる。
小売業	売上、採算、資金繰りの全てで改善という結果となった。次期の見通しは、売上と資金繰りは当期から悪化、採算は改善を見込んでいる。
サービス業	売上、採算、資金繰りの全てで改善という結果になった。次期の見通しは、売上、採算、資金繰りの全てで悪化を見込んでいる。

〈経営上の問題点について〉

製造業、建設業、小売業、サービス業の全てで、「需要の停滞」が1位となった。前期は新型コロナウイルス感染症対策のための、政府による全国一斉の緊急事態宣言、県境を越えた往来の自粛により経済活動が縮小し、需要が急減した。今期は緊急事態宣言は解除され、定額給付金や持続化給付金等の施策の実施等により、需要の戻りが見られるところであるが、ウィズコロナ対策・対応のため、回復状況は鈍い。

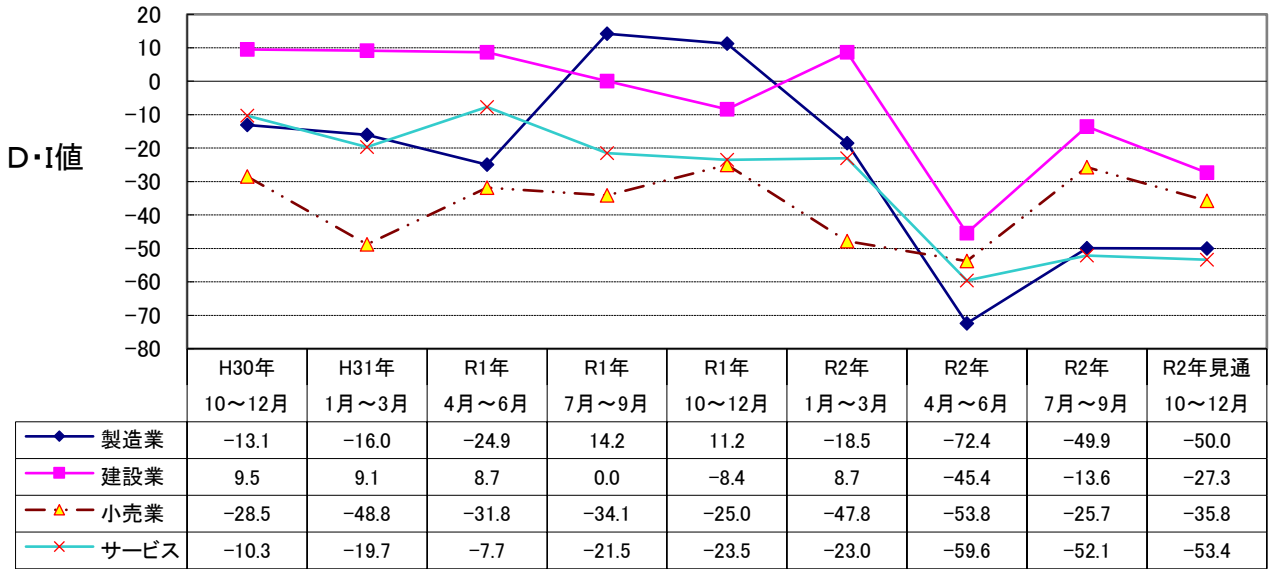


(業況天気図)

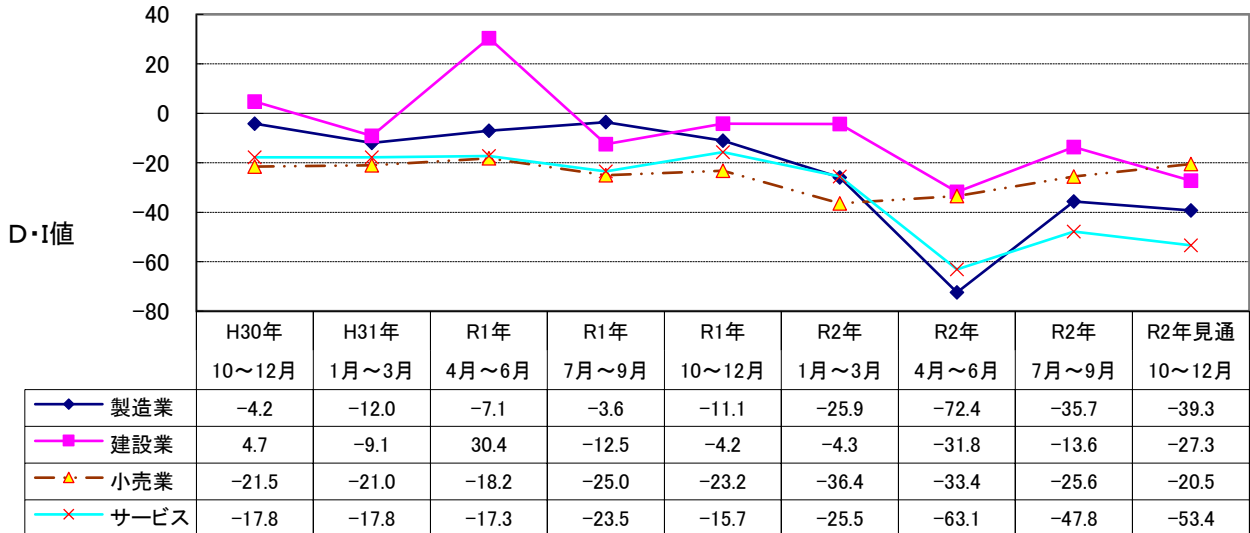
業種別	製造業	建設業	小売業	サービス業
7月から9月 実績	雨	曇時々雨	雨	雨
D-I値	▲ 50.0	▲ 22.7	▲ 31.6	▲ 52.1
10月から12月 見通し	雨	曇時々雨	曇時々雨	雨
D-I値	▲ 51.9	▲ 27.3	▲ 28.9	▲ 46.5
傾向	→	→	→	→

(注) 好転 ↗ 横ばい → 悪化 ↘

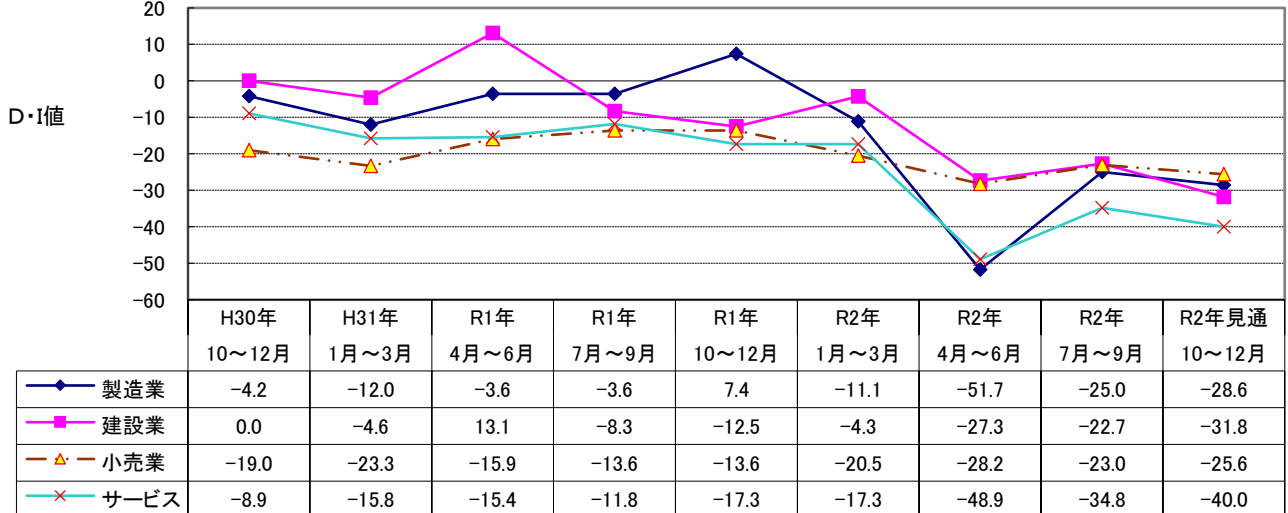
売上額(加工・完成)の推移



採算の推移(経常利益)





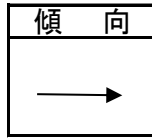
資金繰り



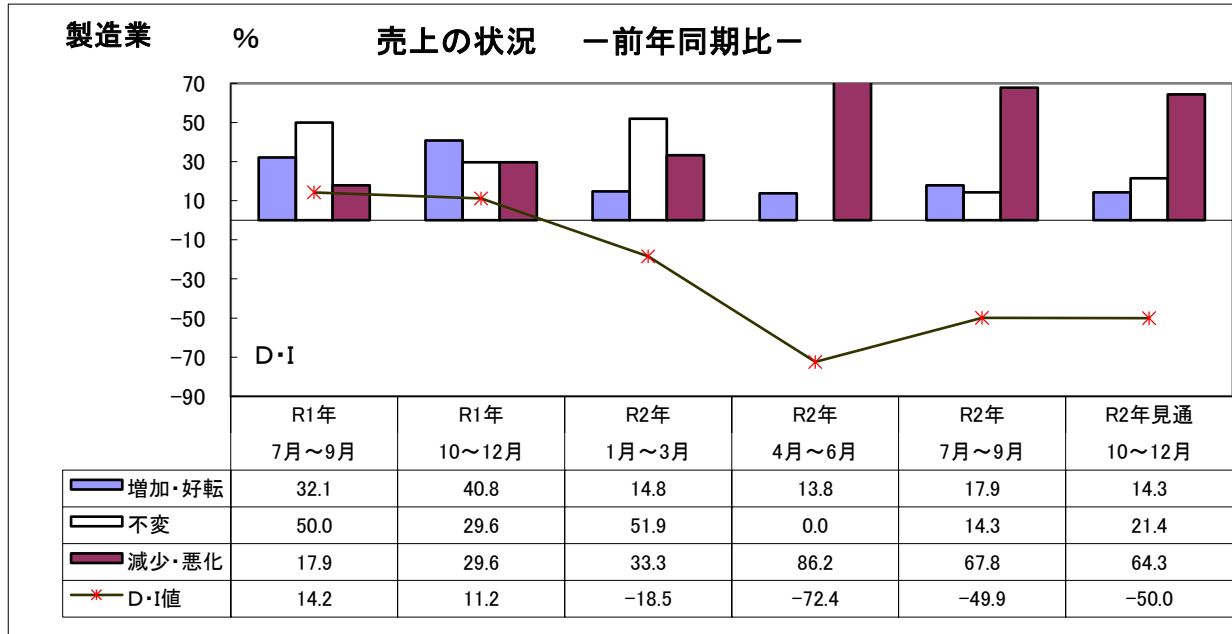
Ⅱ 製造業の景況

(1) 売上(加工)額の推移



2年7月～9月 (実績)	2年10月～12月 (見通し)
	
雨	雨
▲ 49.9	▲ 50.0

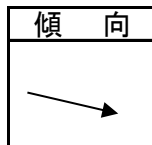


当期の売上高のD・Iは、「増加・好転」とする企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少したため、D・Iは-49.9ポイントと、前期と比べて改善した。次の四半期は「増加・好転」の企業が減少するが、「減少・悪化」の企業も減少するため、D・Iは当期とほぼ横ばいである。

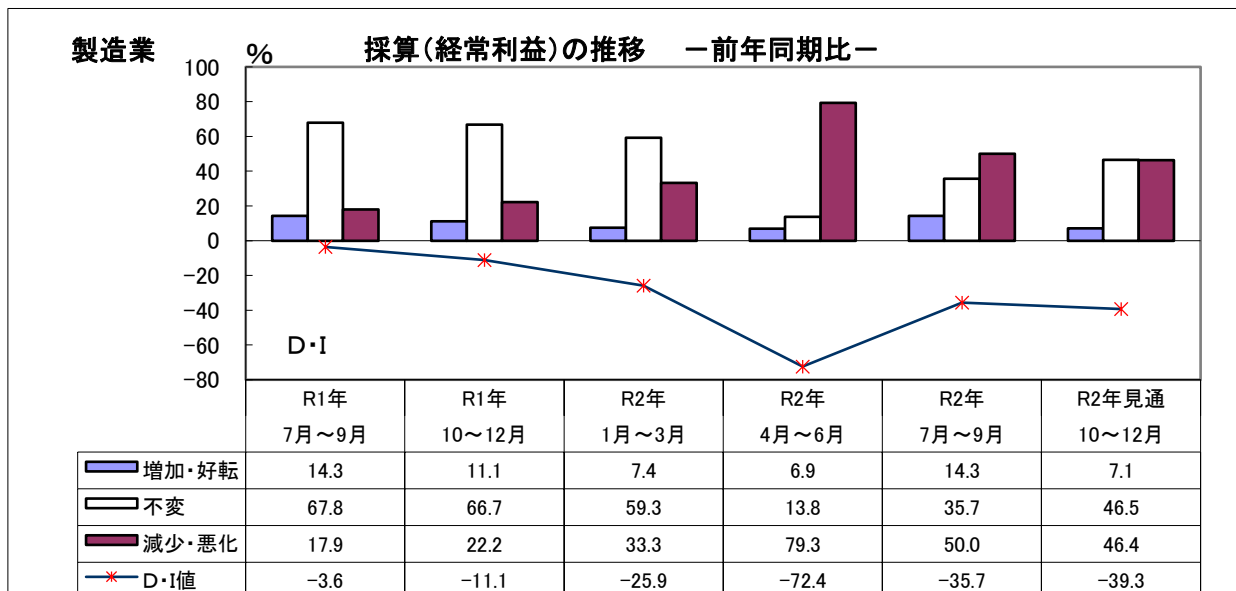


(2) 採算(経常利益)の推移



2年7月～9月 (実績)	2年10月～12月 (見通し)
	
雨	雨
▲ 35.7	▲ 39.3

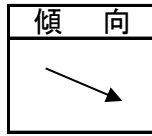


当期の採算のD・Iは、-35.7ポイントで、直前四半期の数値から改善した。「増加・好転」の企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少したためである。次の四半期は「減少・悪化」の企業は減少するが、「増加・好転」の企業も減少するため、当期からは悪化する予想となっている。

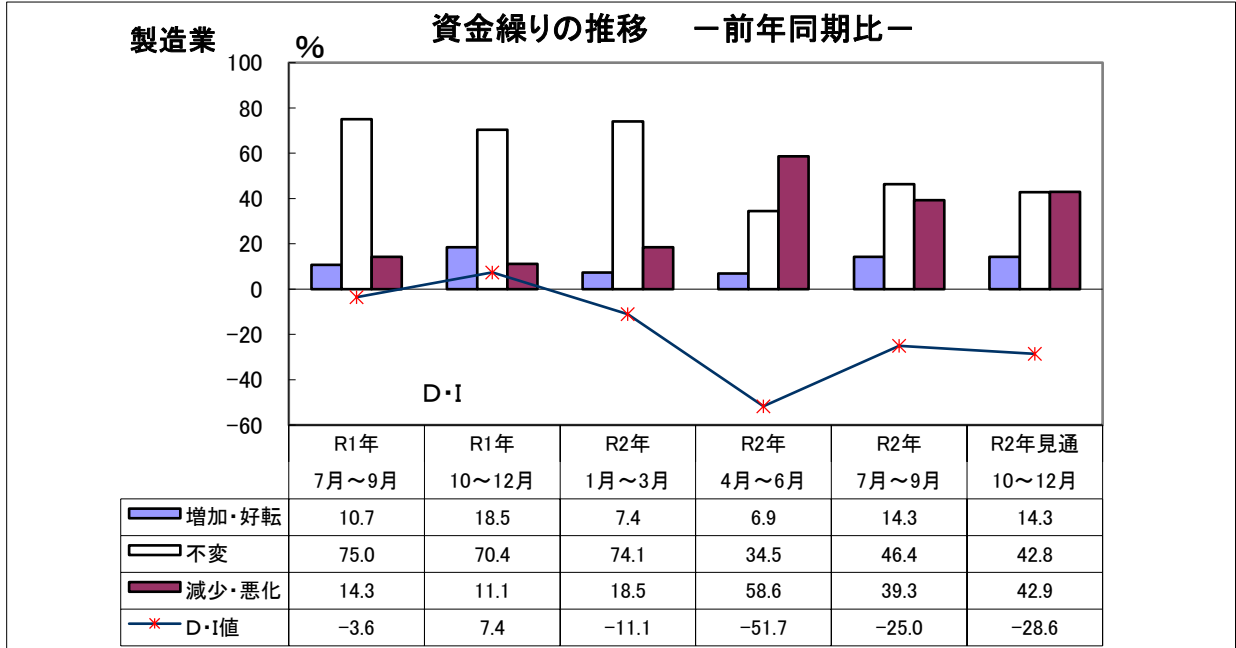


(3) 資金繰りの推移

2年7月～9月 (実績)	2年10月～12月 (見通し)
	
曇時々雨	曇時々雨
▲ 25.0	▲ 28.6

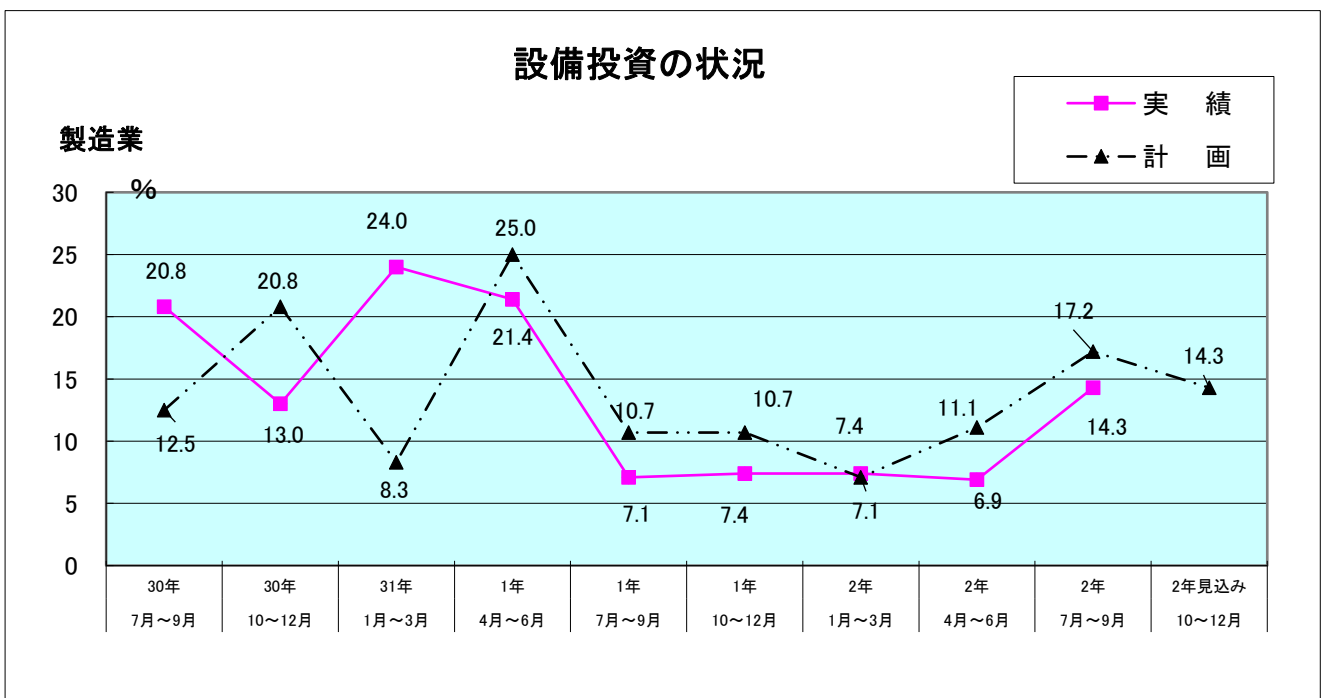


当期の資金繰りのD・Iは、-25.0ポイントとなり、前期より改善した。「増加・好転」の企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少したためである。次の四半期については、「増加・好転」の企業は当期と同じであるが、「減少・悪化」の企業が増加するため、資金繰りのD・Iは、当期より悪化を見込んでいる。



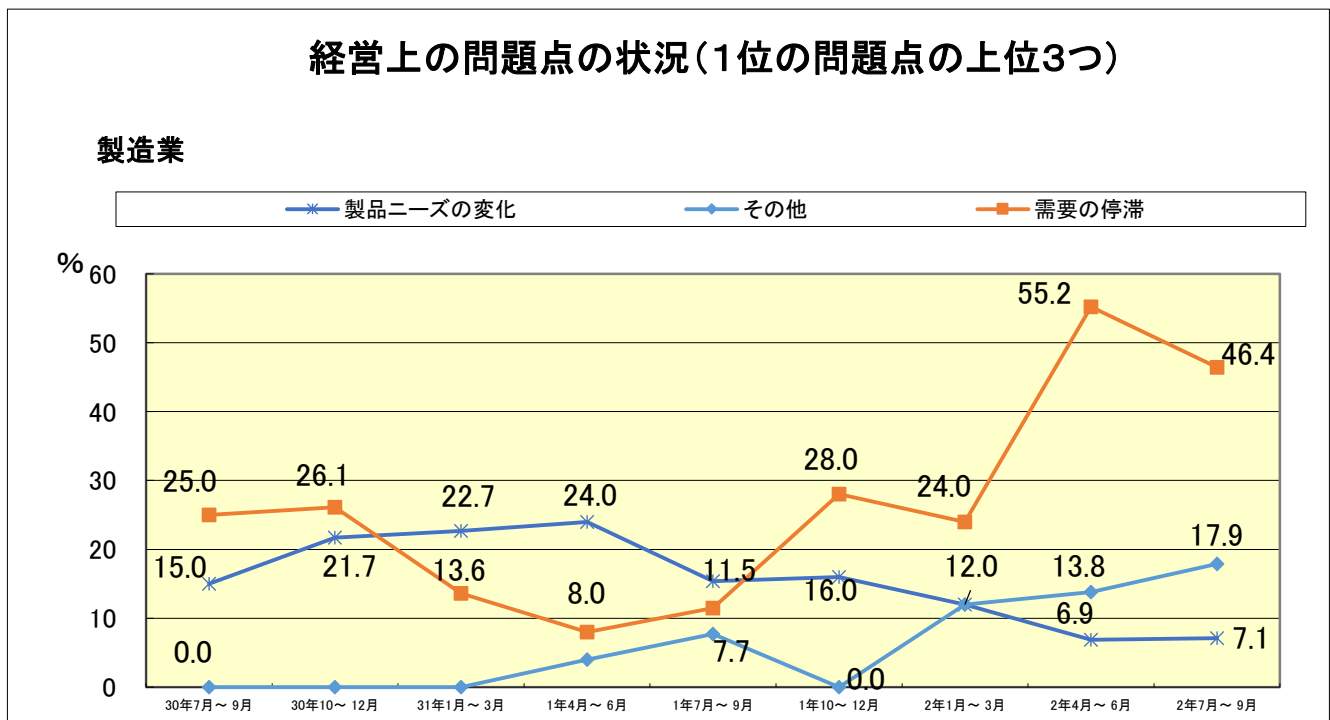
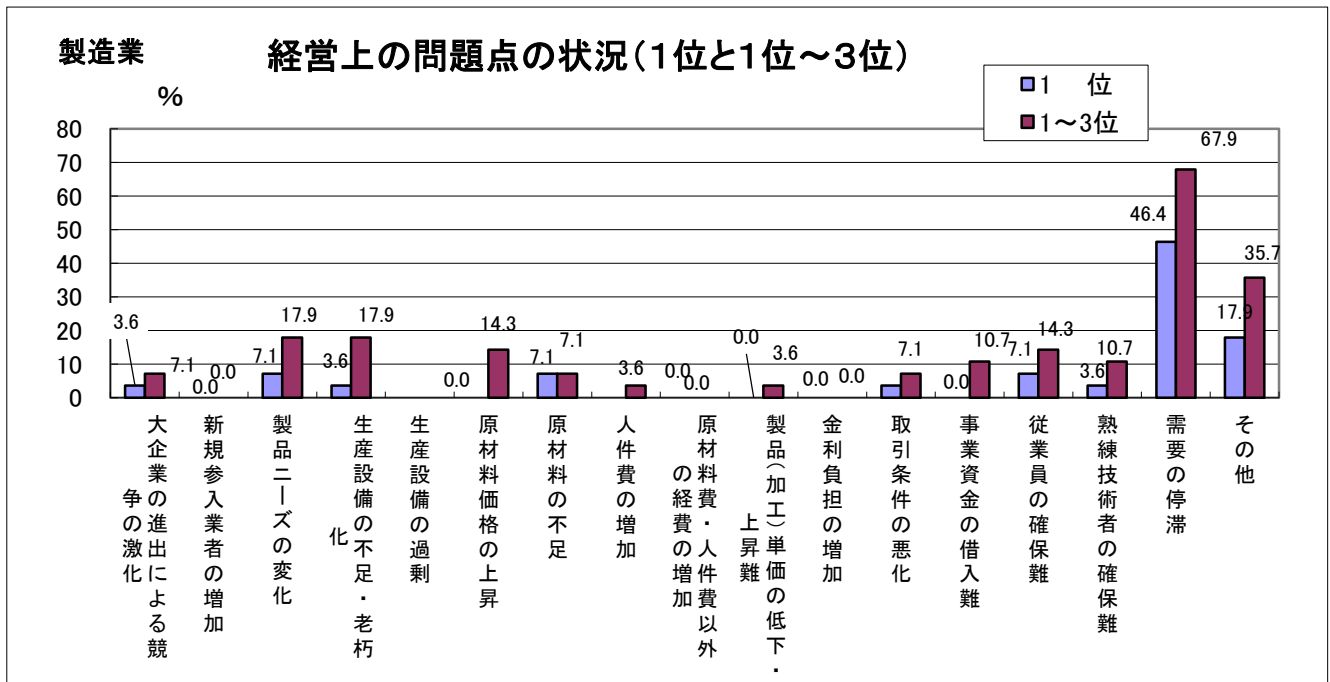
(4) 設備投資の推移

当期の設備投資計画は17.2%の企業が実施の意向を見せていたが、実績は14.3%となり、実績は計画を下回った。次の四半期は14.3%の企業が計画している。内容は生産設備、工場建物、土地等となっている。





(5) 経営上の問題点

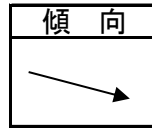
経営上の問題点について回答を求めたところ、(1位グループ)の合計で多かったのは、1位が「需要の停滞」となり、2位が「その他」、3位が同率で「製品ニーズの変化」、「原材料の不足」、「従業員の確保難」となっている。(1位～3位グループ)では、1位が「需要の停滞」、2位が「その他」、3位が同率で「製品ニーズの変化」、「生産設備の不足・老朽化」となった。今回の調査でも1位グループ、1位～3位グループともに需要の停滞が1位となった。



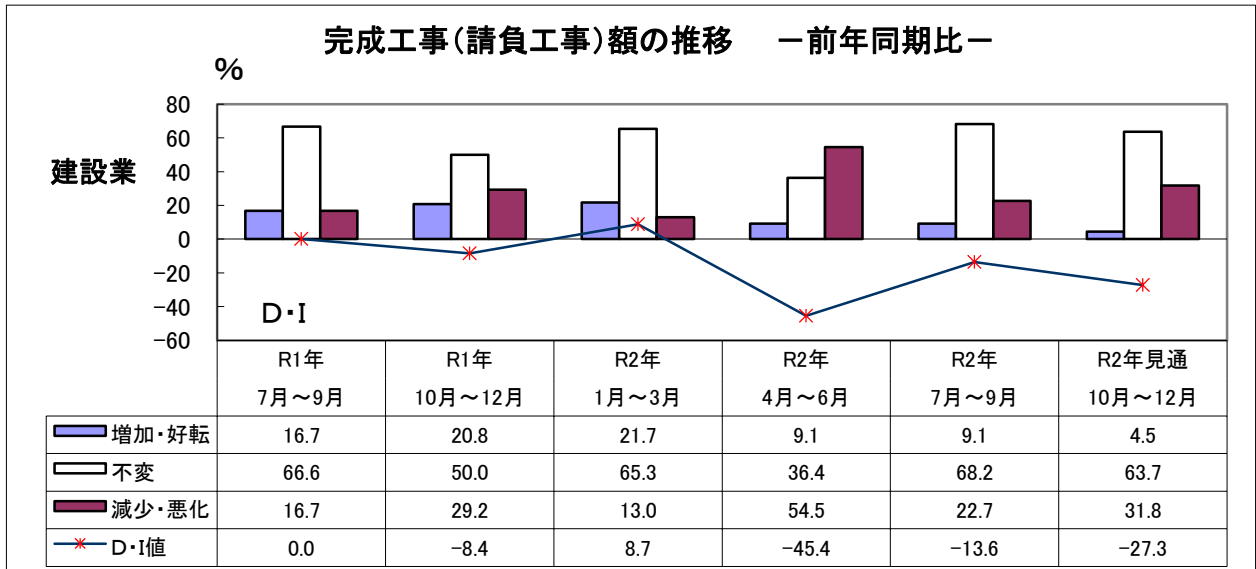
Ⅲ 建設業の景況

(1) 完成工事額の推移



2年7月～9月 (実績)	2年10月～12月 (見通し)
	
曇	曇時々雨
▲ 13.6	▲ 27.3

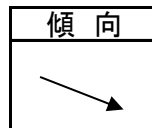


当期の完成工事額のD・Iは、-13.6ポイントとなり、前期から改善した。「増加・好転」とする企業は前期と同じであったが、「減少・悪化」とする企業が減少したためである。次の四半期については、「増加・好転」の企業が減少し、「減少・悪化」の企業が増加するため、完成工事額のD・Iは、当期より悪化し、-27.3ポイントとなっている。

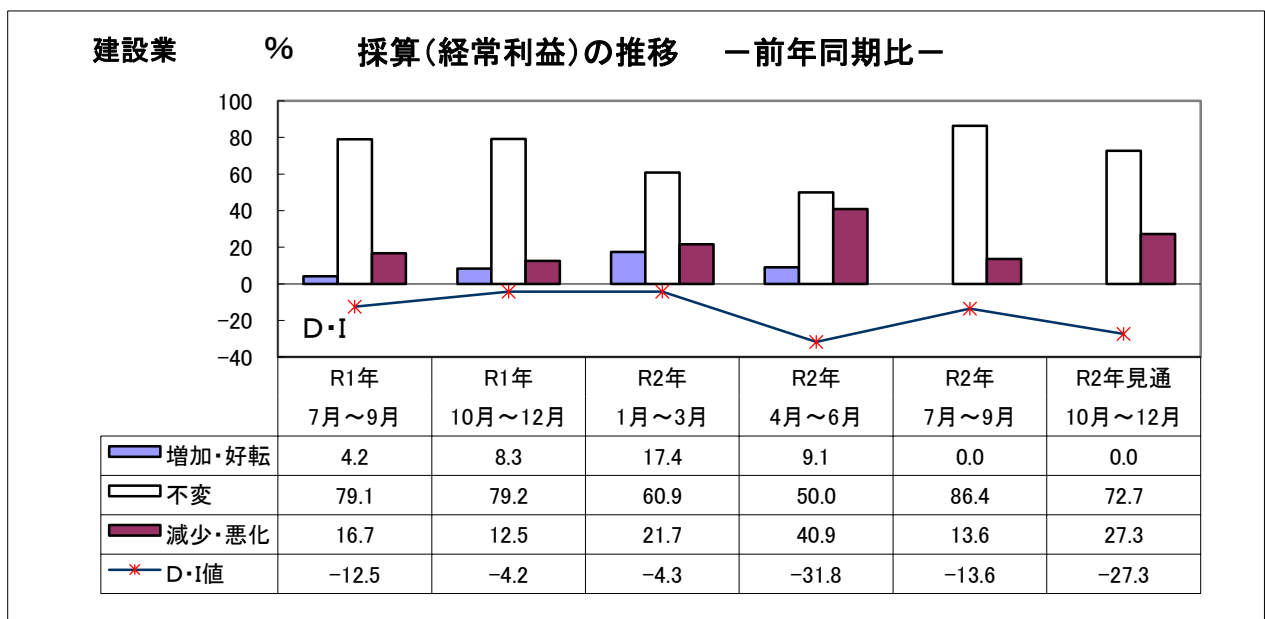


(2) 採算(経常利益)の推移



2年7月～9月 (実績)	2年10月～12月 (見通し)
	
曇	曇時々雨
▲ 13.6	▲ 27.3

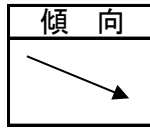


当期の採算のD・Iは、-13.6ポイントであった。前期から改善した。「増加・好転」とする企業が減少したが、「減少・悪化」とする企業も減少したためである。次の四半期は、「増加・好転」とする企業が当期と同じであるが、「減少・悪化」とする企業が増加するため、D・Iは、当期よりも悪化し、-27.3ポイントとなっている。

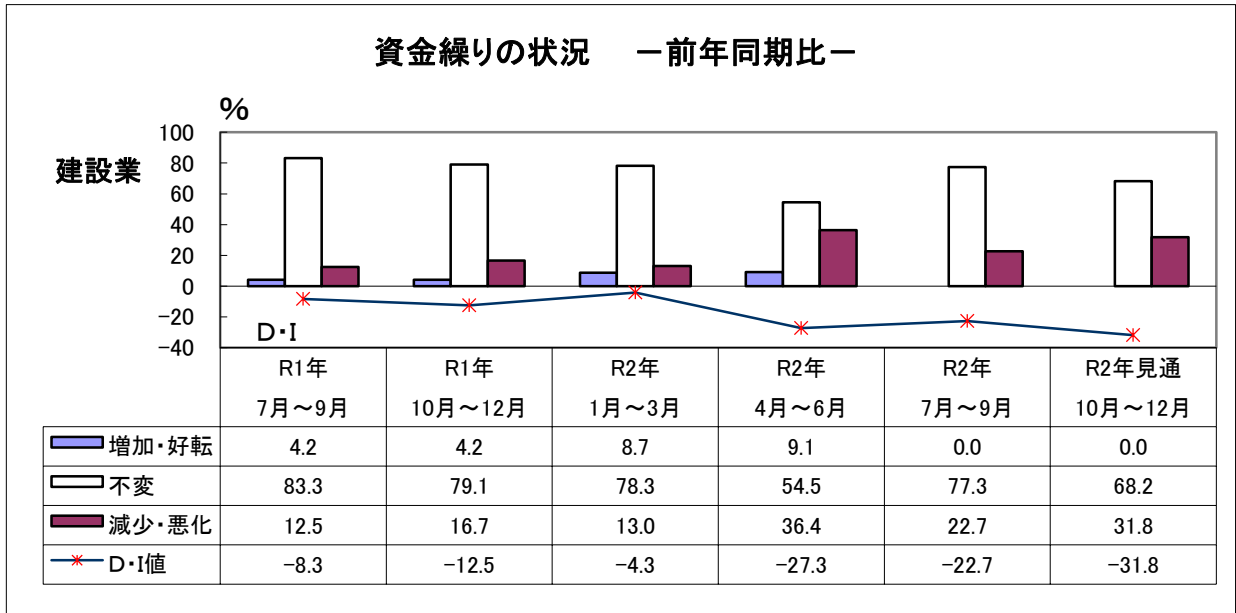


(3) 資金繰りの推移

2年7月～9月 (実績)	2年10月～12月 (見通し)
	
曇時々雨	雨
▲ 22.7	▲ 31.8

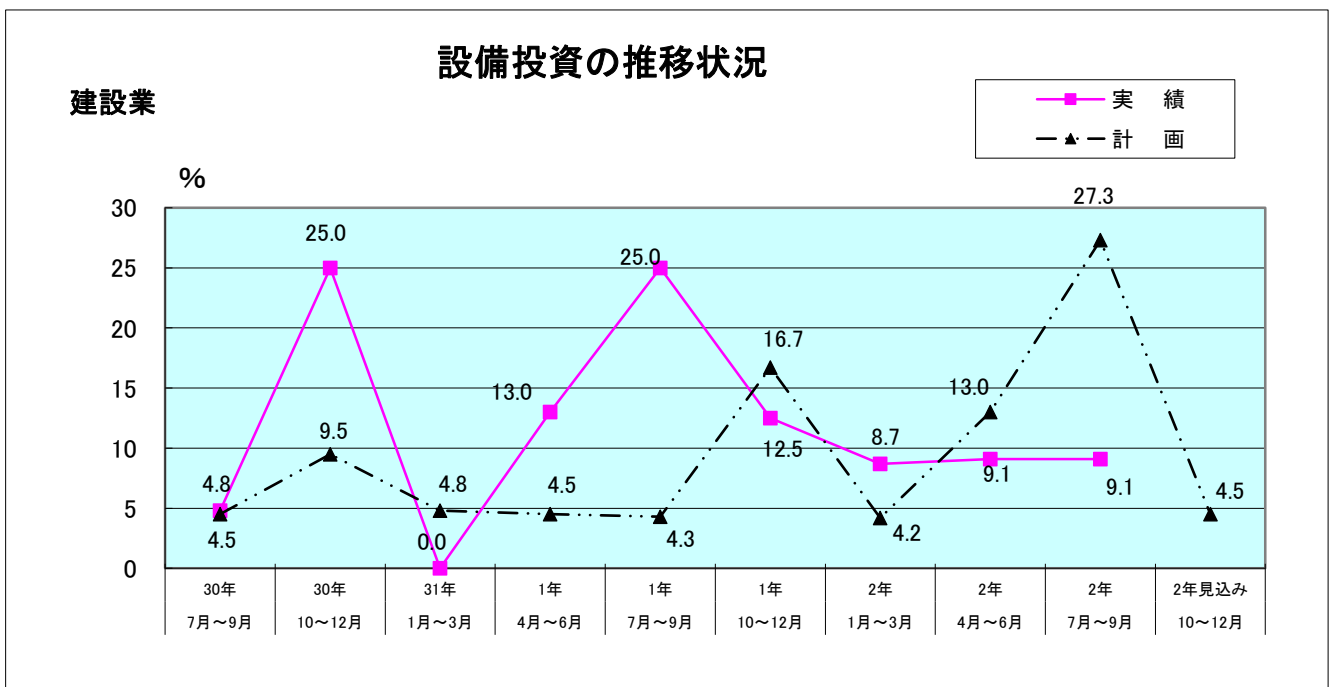


資金繰りのD・Iは-22.7ポイントと、前期より改善する結果となった。「増加・好転」とする企業が減少したが、「減少・悪化」とする企業も減少したためである。次の四半期については、「増加・好転」とする企業は当期と同じであるが、「減少・悪化」とする企業が増加するため、D・Iは、-31.8ポイントと悪化を見込んでいる。



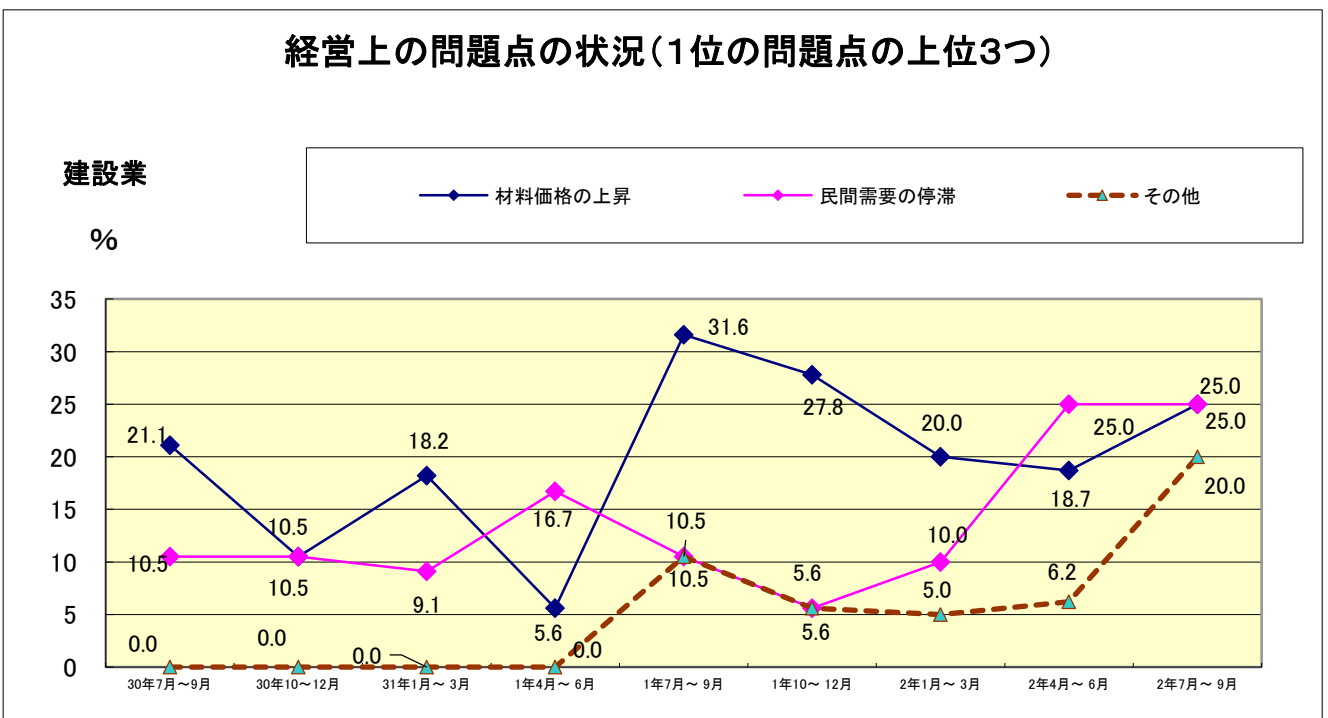
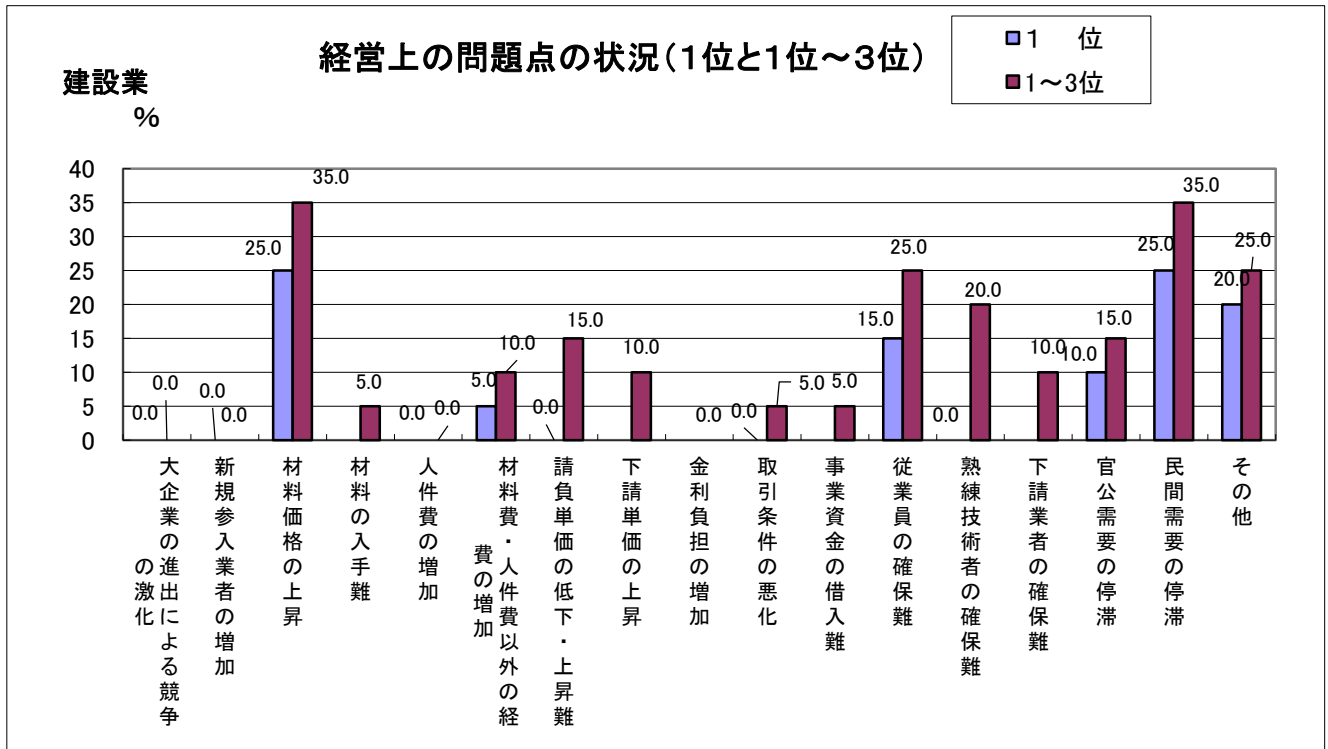
(4) 設備投資の推移

当期の設備投資計画は27.3%であったが、実際に投資を行った企業は9.1%であった。次の四半期に設備投資を計画している企業は4.5%という結果となっている。投資対象は建物となっている。




(5) 経営上の問題点

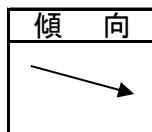
経営上の問題点について、(1位グループ)で回答が多かったのは、1位が同率で「民間需要の停滞」、「材料価格の上昇」、2位が「その他」となった。(1位～3位グループ)では、1位が同率で「民間需要の停滞」、「材料価格の上昇」、2位が同率で「従業員の確保難」、「その他」であった。建設業においても、新型コロナウイルス感染症の影響により需要の停滞が1位となっている。



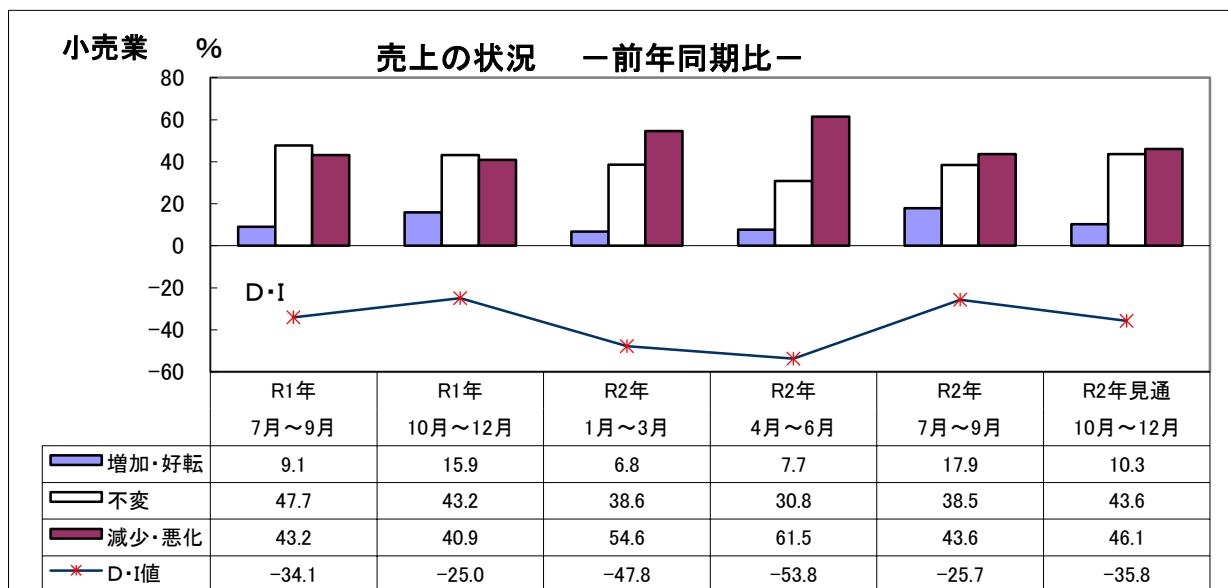
IV 小売業の景況

(1) 売上額の推移

2年7月～9月 (実績)	2年10月～12月 (見通し)
	
曇時々雨	雨
▲ 25.7	▲ 35.8

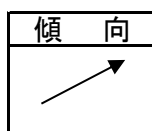


当期の売上のD・Iは-25.7ポイントで、直前期の-53.8ポイントより改善した。「増加・好転」とする企業が増加し、「減少・悪化」とする企業が減少したためである。客数が改善している。次の四半期は「増加・好転」の企業が減少し、「減少・悪化」の企業が増加するため、D・Iは悪化を見込んでいる。

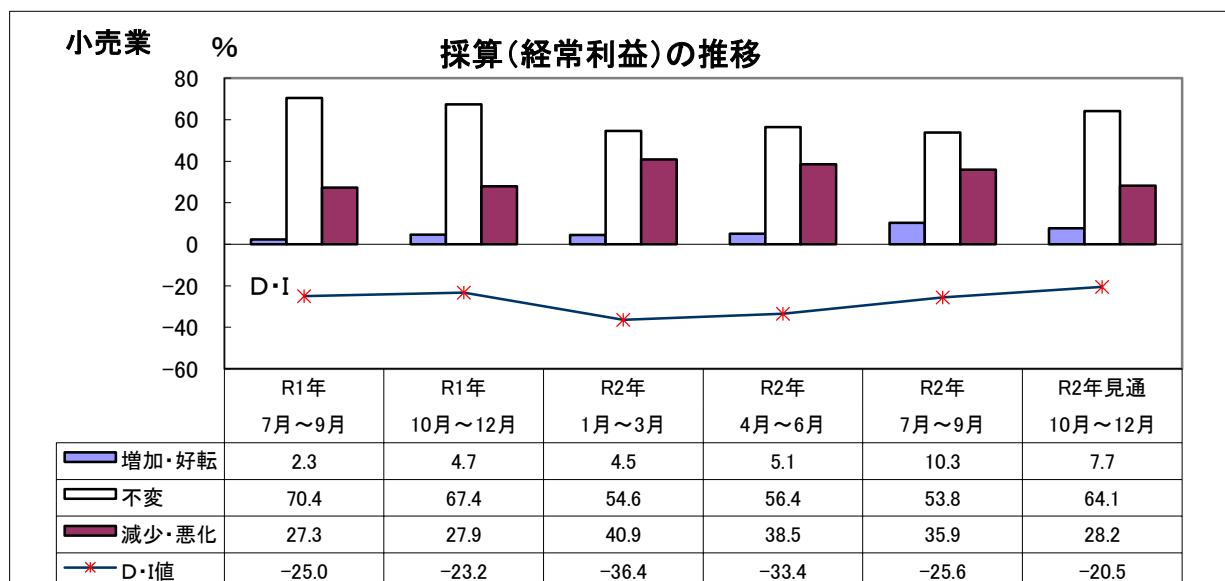


(2) 採算(経常利益)の推移



2年7月～9月 (実績)	2年10月～12月 (見通し)
	
曇時々雨	曇時々雨
▲ 25.6	▲ 20.5

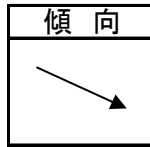


当期の採算のD・Iは-25.6ポイントで、前期より改善した。「増加・好転」とする企業が増加し、「減少・悪化」とする企業が減少したためである。次の四半期は「増加・好転」の企業が減少するが、「減少・悪化」とする企業も減少するため、D・Iは水面下であるが当期より改善を見込んでいる。

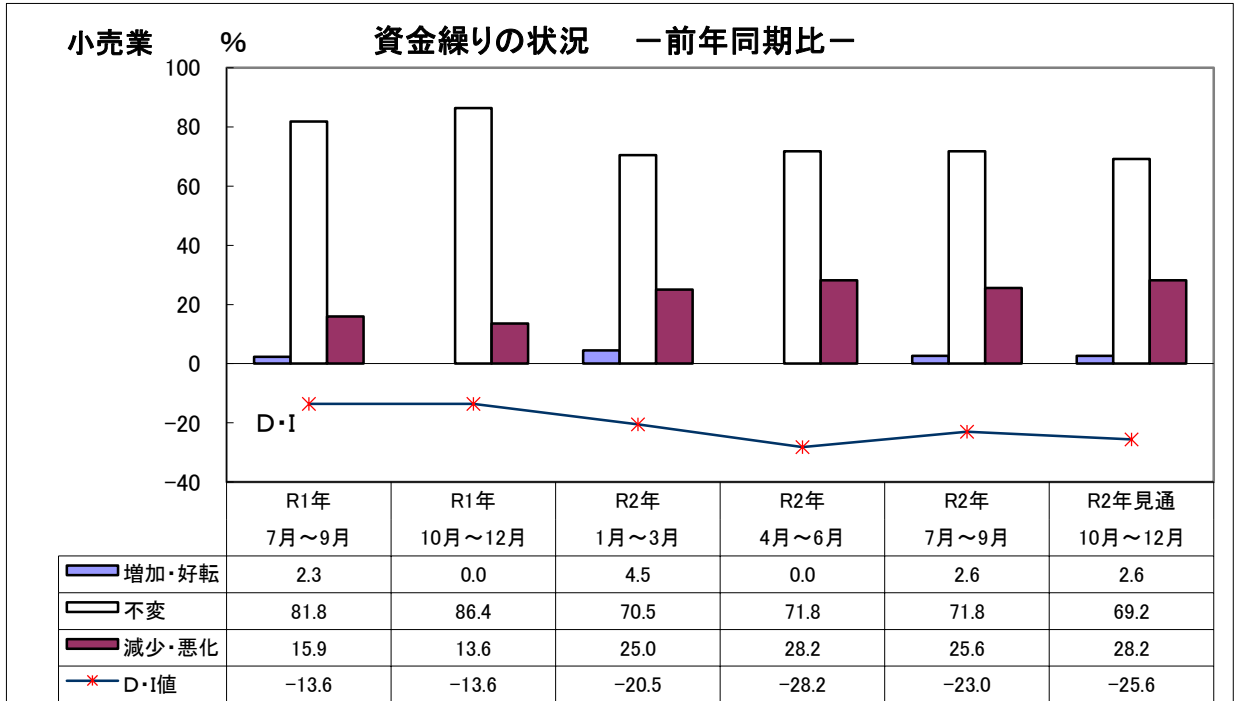


(3) 資金繰りの推移

2年7月～9月 (実績)	2年10月～12月 (見通し)
	
曇時々雨	曇時々雨
▲ 23.0	▲ 25.6

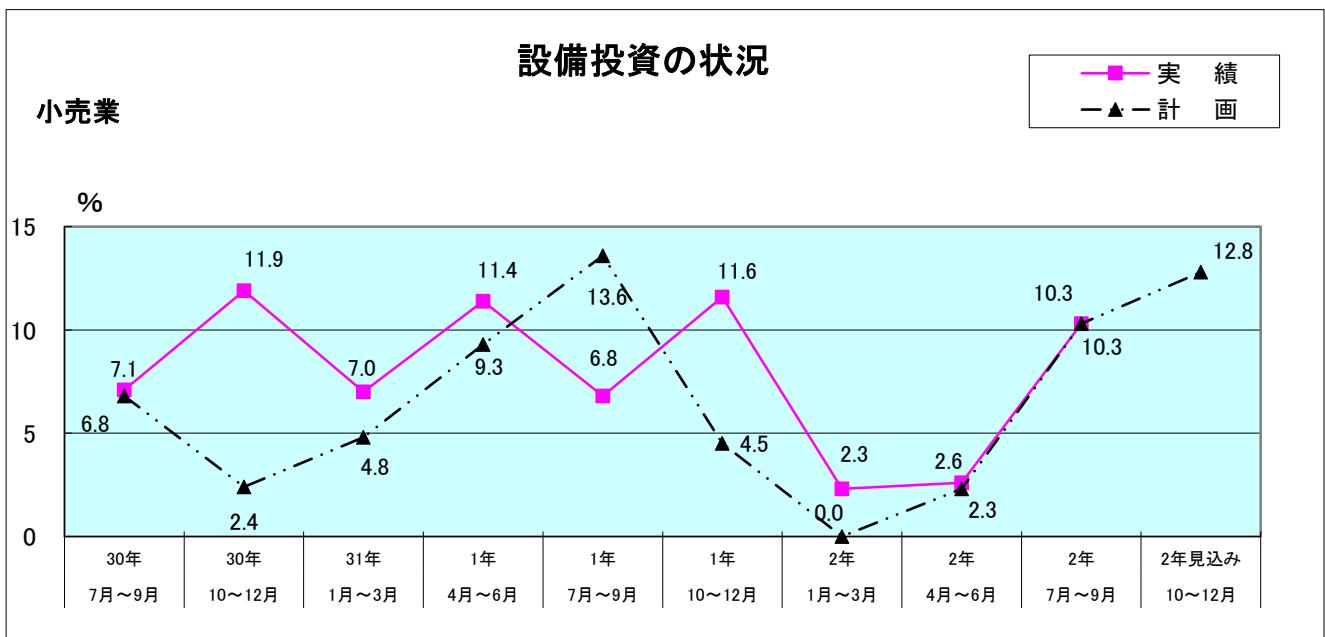


当期の資金繰りのD・Iは-23.0ポイントで、直前期から改善した。「増加・好転」とする企業が増加し、「減少・悪化」とする企業が減少したためである。次期四半期は「増加・好転」の企業が当期と同じであるが、「減少・悪化」の企業が増加するため、D・Iは当期より悪化を見込んでいる。



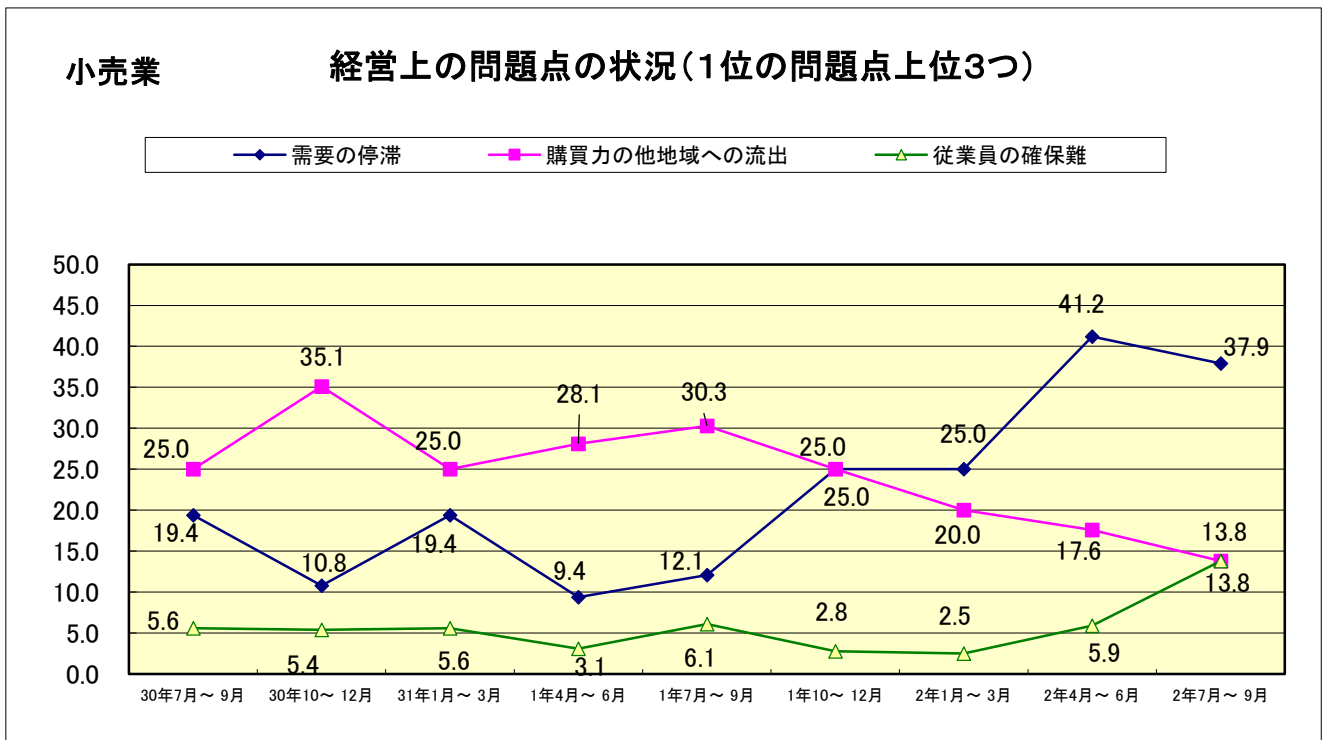
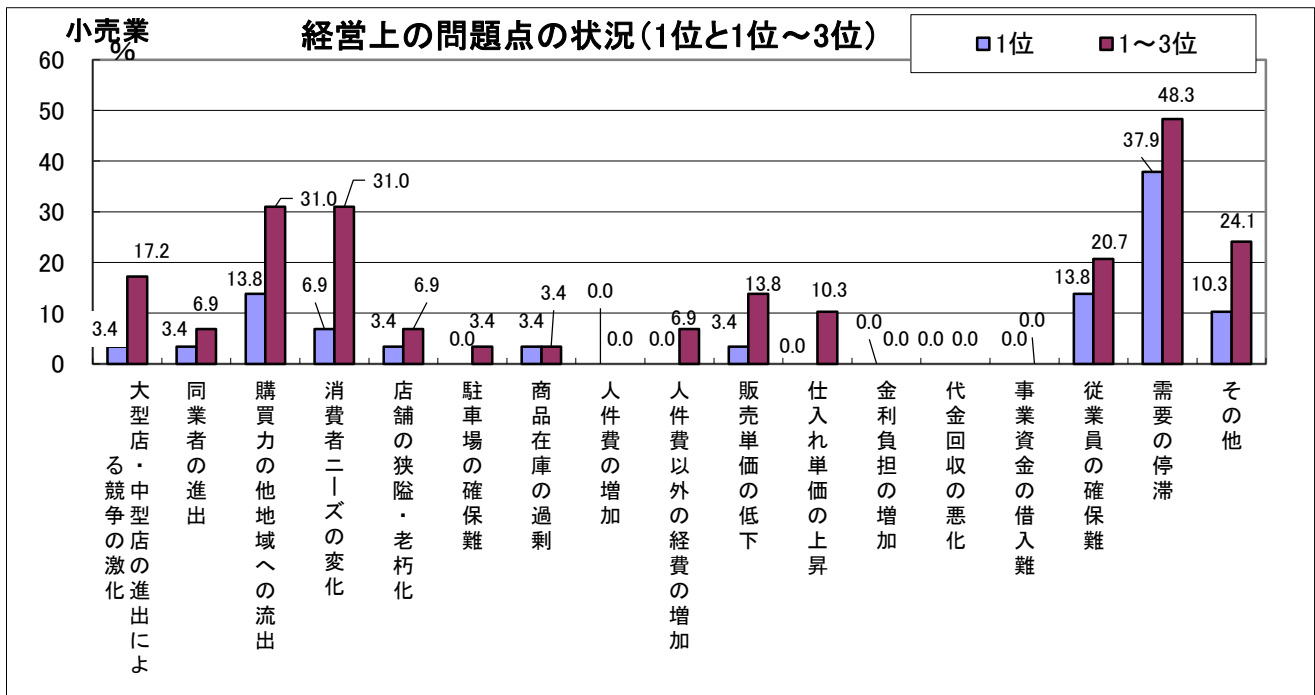
(4) 設備投資の推移

設備投資は10.3%の企業が計画し、実際に実施した企業は10.3%となった。投資対象は店舗等となっている。次の四半期の見通しは、設備投資を計画している企業は12.8%となっている。





(5) 経営上の問題点

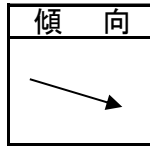
経営上の問題点について、回答が多かったのは、(1位グループ)では、1位が「需要の停滞」、2位が同率で「購買力の他地域への流出」、「従業員の確保難」であった。(1位から3位グループ)では、1位が「需要の停滞」、2位が同率で「購買力の他地域への流出」、「消費者ニーズの変化」であった。新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動縮小により需要の停滞が圧倒的な1位となった。



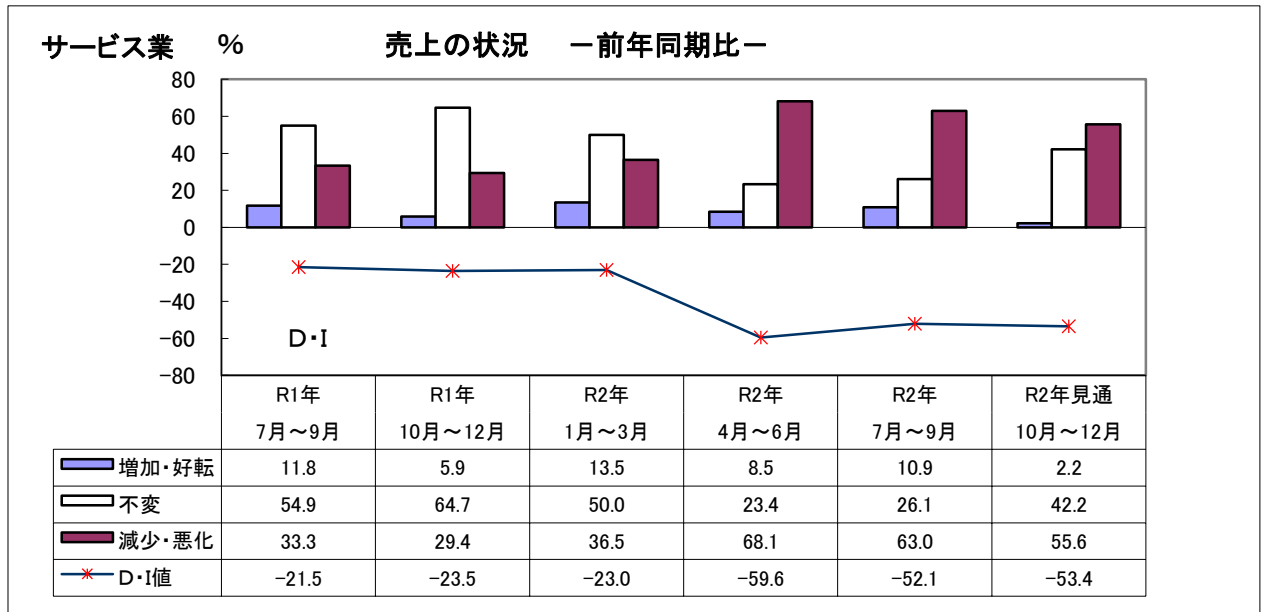
V サービス業の景況

(1) 売上額の推移



2年7月～9月 (実績)	2年10月～12月 (見通し)
	
雨	雨
▲ 52.1	▲ 53.4

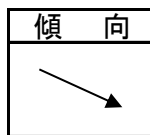


当期の売上のD・Iは、-52.1ポイントと前期より改善した。「増加・好転」の企業が増加し、「減少・悪化」の企業が減少したためである。客単価、利用客数で改善傾向を示している。次の四半期は「減少・悪化」の企業が減少するが、「増加・好転」の企業も減少するため、D・Iは当期より悪化する。

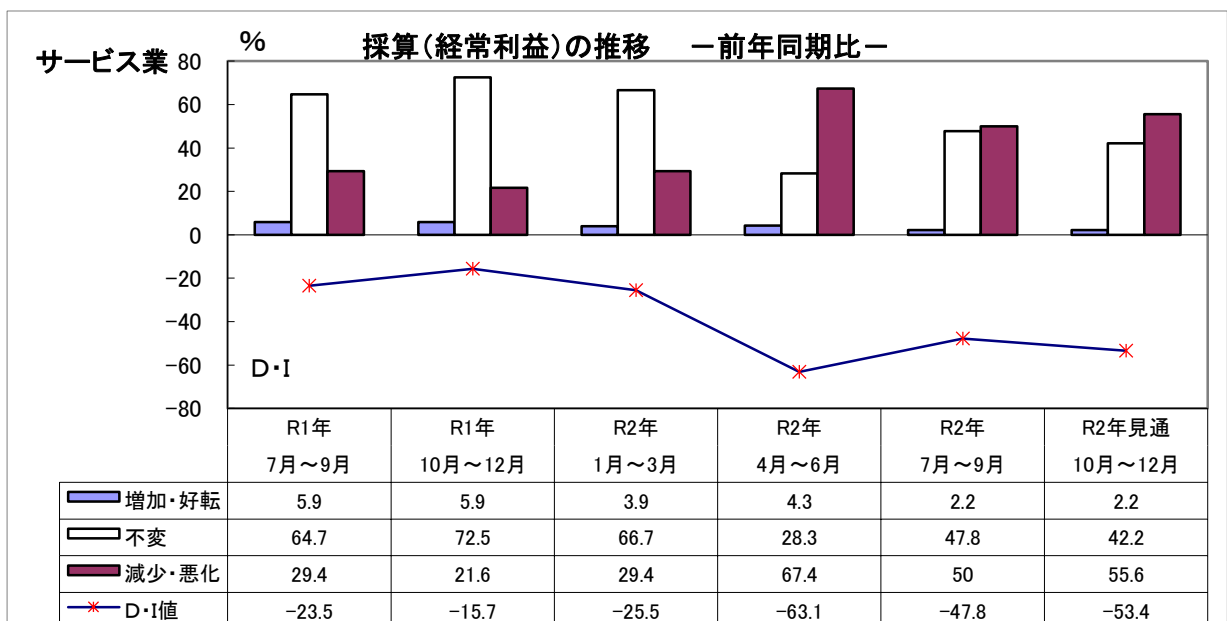


(2) 採算(経常利益)の推移



2年7月～9月 (実績)	2年10月～12月 (見通し)
	
雨	雨
▲ 47.8	▲ 53.4

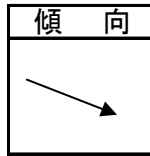


当期の採算のD・Iは、-47.8ポイントで、前期より改善した。「増加・好転」の企業は減少したが、「減少・悪化」の企業も減少したためである。次の四半期は「増加・好転」の企業は当期と同じであるが、「減少・悪化」の企業が増加するため、D・Iは当期より悪化する見込みとなっている。

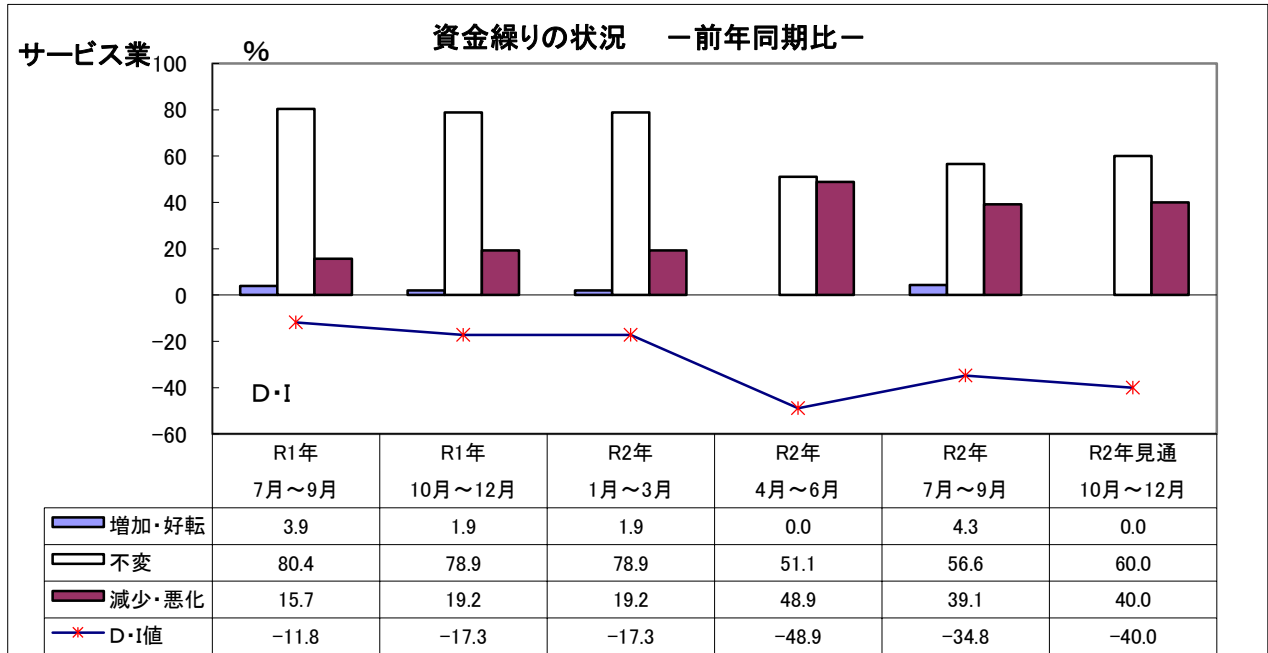


(3) 資金繰りの推移

2年7月～9月 (実績)	2年10月～12月 (見通し)
	
▲ 34.8	▲ 40.0

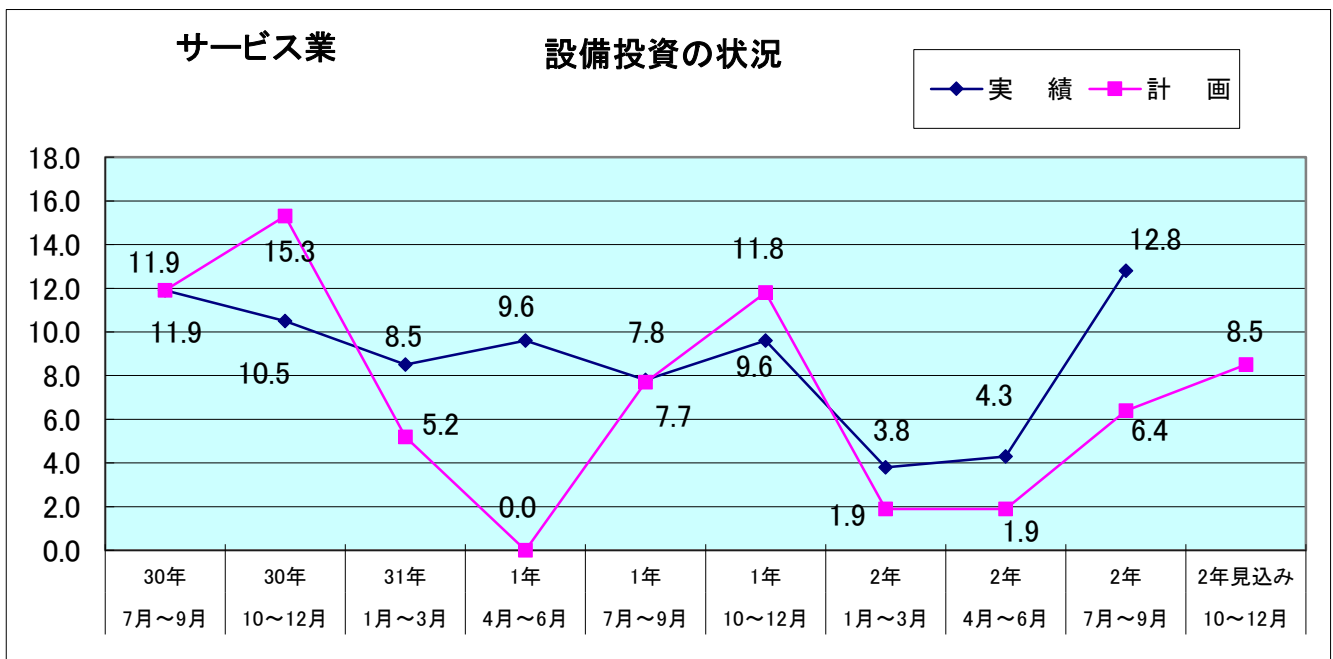


当期の資金繰りのD・Iは、-34.8ポイントと前期から改善した。「増加・好転」とする企業が増加し、「減少・悪化」とする企業が減少したためである。次の四半期は「増加・好転」の企業が減少し、「減少・悪化」の企業が増加するため、資金繰りのD・Iは、当期より悪化する。



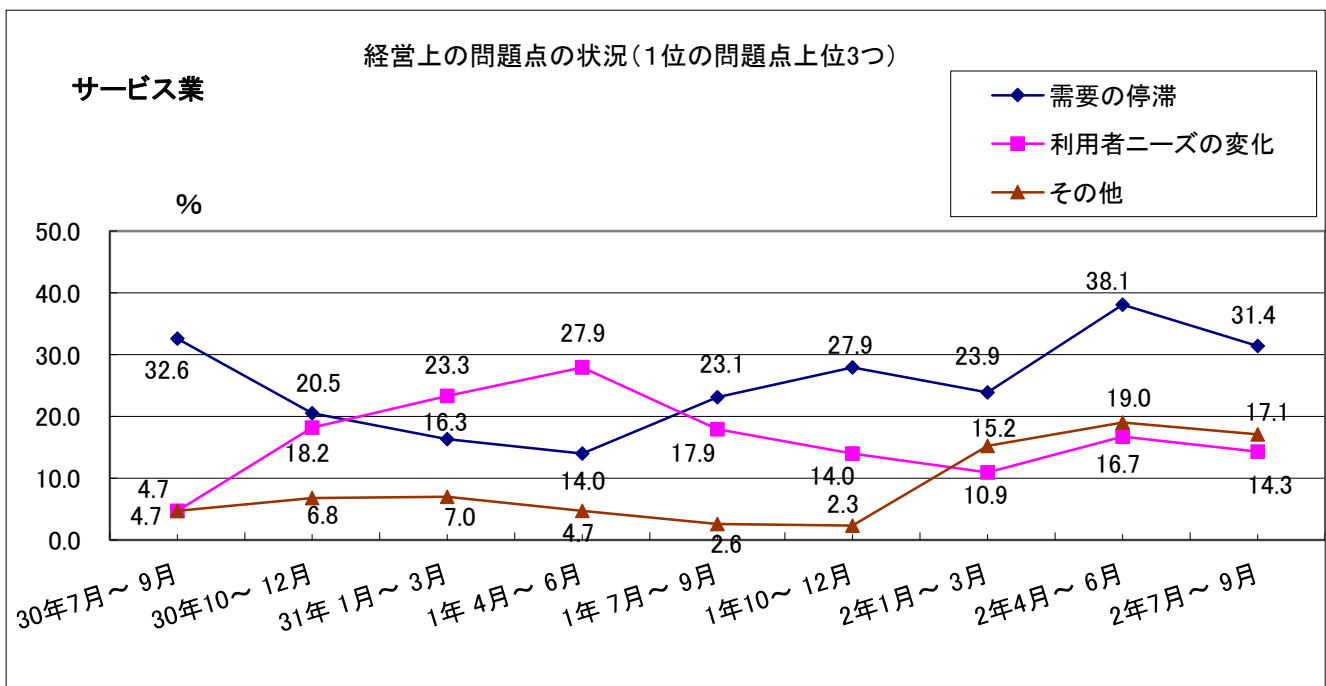
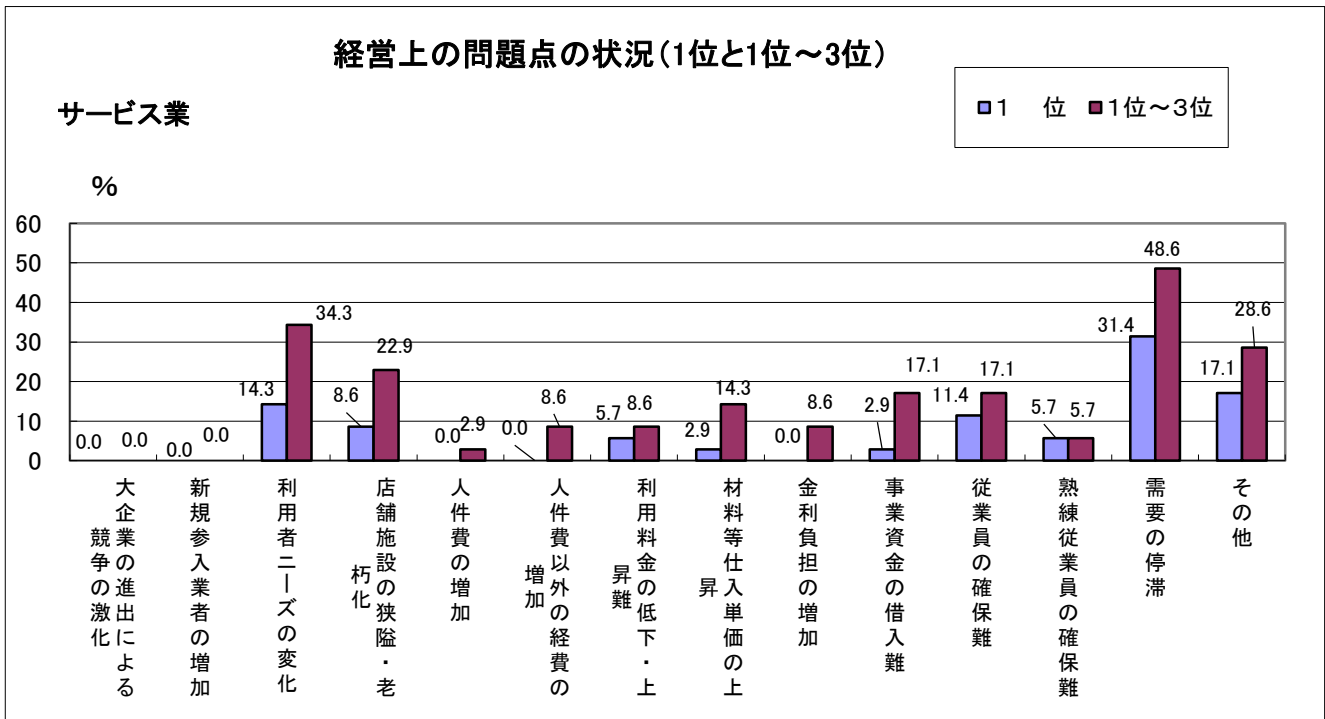
(4) 設備投資の推移

当期は、設備投資を計画していた企業は6.4%であったが、計画を上回る12.8%の企業が実施した。内容はサービス、その他となっている。次の四半期に設備投資を計画している企業は、8.5%との結果となっている。



(5) 経営上の問題点

経営上の問題点(1位グループ)で、回答が多かったものは1位が「需要の停滞」で、2位が「その他」、3位が「利用者ニーズの変化」となっている。(1位から3位グループ)では、1位が「需要の停滞」、2位が「利用者ニーズの変化」、3位が「その他」となっており、(1位グループ)と同様、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて「需要の停滞」が1位となっている。



産業別主要景況項目状況

宮崎県商工会連合会

業種			実績					見通し	
			令和1年	令和1年	令和2年	令和2年	令和2年	令和2年	
			7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	
製造業	売上(加工)額	増加・好転	32.1	40.8	14.8	13.8	17.9	14.3	
		不変	50.0	29.6	51.9	0.0	14.3	21.4	
		減少・悪化	17.9	29.6	33.3	86.2	67.8	64.3	
		D・I値	14.2	11.2	▲ 18.5	▲ 72.4	▲ 49.9	▲ 50.0	
	採算(経常利益)	増加・好転	14.3	11.1	7.4	6.9	14.3	7.1	
		不変	67.8	66.7	59.3	13.8	35.7	46.5	
		減少・悪化	17.9	22.2	33.3	79.3	50.0	46.4	
		D・I値	▲ 3.6	▲ 11.1	▲ 25.9	▲ 72.4	▲ 35.7	▲ 39.3	
	資金繰り	増加・好転	10.7	18.5	7.4	6.9	14.3	14.3	
		不変	75.0	70.4	74.1	34.5	46.4	42.8	
		減少・悪化	14.3	11.1	18.5	58.6	39.3	42.9	
		D・I値	▲ 3.6	7.4	▲ 11.1	▲ 51.7	▲ 25.0	▲ 28.6	
	設備投資	計画	10.7	10.7	7.1	11.1	17.2	14.3	
		実行	7.1	7.4	7.4	6.9	14.3		
	建設業	完成工事(請負工事)額	増加・好転	16.7	20.8	21.7	9.1	9.1	4.5
			不変	66.6	50.0	65.3	36.4	68.2	63.7
減少・悪化			16.7	29.2	13.0	54.5	22.7	31.8	
D・I値			0.0	▲ 8.4	8.7	▲ 45.4	▲ 13.6	▲ 27.3	
採算(経常利益)		増加・好転	4.2	8.3	17.4	9.1	0.0	0.0	
		不変	79.1	79.2	60.9	50.0	86.4	72.7	
		減少・悪化	16.7	12.5	21.7	40.9	13.6	27.3	
		D・I値	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 4.3	▲ 31.8	▲ 13.6	▲ 27.3	
資金繰り		増加・好転	4.2	4.2	8.7	9.1	0.0	0.0	
		不変	83.3	79.1	78.3	54.5	77.3	68.2	
		減少・悪化	12.5	16.7	13.0	36.4	22.7	31.8	
		D・I値	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 4.3	▲ 27.3	▲ 22.7	▲ 31.8	
設備投資		計画	4.3	16.7	4.2	13.0	27.3	4.5	
		実行	25.0	12.5	8.7	9.1	9.1		
小売業		売上額	増加・好転	9.1	15.9	6.8	7.7	17.9	10.3
			不変	47.7	43.2	38.6	30.8	38.5	43.6
	減少・悪化		43.2	40.9	54.6	61.5	43.6	46.1	
	D・I値		▲ 34.1	▲ 25.0	▲ 47.8	▲ 53.8	▲ 25.7	▲ 35.8	
	採算(経常利益)	増加・好転	2.3	4.7	4.5	5.1	10.3	7.7	
		不変	70.4	67.4	54.6	56.4	53.8	64.1	
		減少・悪化	27.3	27.9	40.9	38.5	35.9	28.2	
		D・I値	▲ 25.0	▲ 23.2	▲ 36.4	▲ 33.4	▲ 25.6	▲ 20.5	
	資金繰り	増加・好転	2.3	0.0	4.5	0.0	2.6	2.6	
		不変	81.8	86.4	70.5	71.8	71.8	69.2	
		減少・悪化	15.9	13.6	25.0	28.2	25.6	28.2	
		D・I値	▲ 13.6	▲ 13.6	▲ 20.5	▲ 28.2	▲ 23.0	▲ 25.6	
	設備投資	計画	13.6	4.5	0.0	2.3	10.3	12.8	
		実行	6.8	11.6	2.3	2.6	10.3		
	サービス業	売上額	増加・好転	11.8	5.9	13.5	8.5	10.9	2.2
			不変	54.9	64.7	50.0	23.4	26.1	42.2
減少・悪化			33.3	29.4	36.5	68.1	63.0	55.6	
D・I値			▲ 21.5	▲ 23.5	▲ 23.0	▲ 59.6	▲ 52.1	▲ 53.4	
採算(経常利益)		増加・好転	5.9	5.9	3.9	4.3	2.2	2.2	
		不変	64.7	72.5	66.7	28.3	47.8	42.2	
		減少・悪化	29.4	21.6	29.4	67.4	50.0	55.6	
		D・I値	▲ 23.5	▲ 15.7	▲ 25.5	▲ 63.1	▲ 47.8	▲ 53.4	
資金繰り		増加・好転	3.9	1.9	1.9	0.0	4.3	0.0	
		不変	80.4	78.9	78.9	51.1	56.6	60.0	
		減少・悪化	15.7	19.2	19.2	48.9	39.1	40.0	
		D・I値	▲ 11.8	▲ 17.3	▲ 17.3	▲ 48.9	▲ 34.8	▲ 40.0	
設備投資		計画	7.7	11.8	1.9	1.9	6.4	8.5	
		実行	7.8	9.6	3.8	4.3	12.8		
産業全体		売上高		▲ 10.4	▲ 11.4	▲ 20.2	▲ 57.8	▲ 35.3	▲ 41.6
		採算		▲ 16.2	▲ 13.6	▲ 23.0	▲ 50.2	▲ 30.7	▲ 35.1
	資金繰り		▲ 9.3	▲ 9.0	▲ 13.3	▲ 39.0	▲ 26.4	▲ 31.5	
	業況		▲ 12.4	▲ 9.5	▲ 19.0	▲ 53.8	▲ 39.1	▲ 38.7	

中小企業景況調査報告書

令和2年9月発行

宮崎県商工会連合会

〒880-0013

宮崎市松橋2丁目4番31号

宮崎県中小企業会館2階

TEL 0985-24-2055(代表)

FAX 0985-25-0036